

実践編

1 「合唱コンクール」で

「コミュニケーション能力」を育成するとは？

(1) 行事の特性やねらいを考えます。

合唱は歌を通して心と心を通い合わせることで、つまり「心作り」であり、人間関係を作るには最適です。さらに、その経験を通して、コミュニケーションの取り方や方法を自然と身に付けることができるとともに、相手の心や立場を考慮することができ、思いやりや支え合う気持ちが育くまれると考えます。

(2) 育成できる能力を考えます。

この行事「合唱コンクール」を通して、友達の気持ちを考えながら、進んで人間関係を築こうと、お互いの立場を理解し、チームを組んで支え合おうとする「コミュニケーション能力」を育成することができると考えます。

(3) 指導計画を立て、指導案を作成します。

「道徳：集団生活の向上」
「学活：合唱コンクールを成功させよう」

「学校行事：合唱コンクール」

「学活：異性への理解」
「道徳：人間愛、思いやり」

(4) 目指す能力が育成できます。

支え合いや団結力が培えます。
人間関係を築こうとする意識
が定着します。

コミュニケーション能力



2 キャリア指導案の作成の手順について

合唱コンクール

1 この行事の特性やねらいは何か、考えます。



団結力が付く。

相手の心や立場を考えられる。

学級がまとまる。

歌がうまくなる。

思いやりが育つ。

仲良くなる。

2 どのキャリア諸能力を育てることができるか、考えます。

この行事の特性やねらいをよく理解して、8つの能力の中でどの能力を育成するのに適している行事か、「職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み」を参考に考えます。

3 指導計画を考えます。



道徳

2 3 の価値項目の中からねらいを考え、意欲や関心が高まる価値を選定をします。

行事

中心の支援内容を考えねらいが達成できる指導を考えます。

学活

年間指導計画の中から、系統性を考え、能力が定着するような活動内容を選定します。

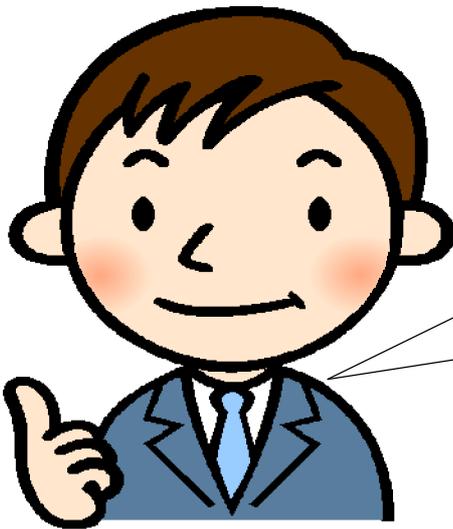
4 指導案を作成します。

行事・道徳・学活の展開部分の指導細案を考えます。

5 能力が育成できます

コミュニケーション能力の育成

3 キャリア指導案（１）は、 指導計画です。



キャリア諸能力の育成に関わる道徳、学活との関連やねらいがわかるようになっていきます。

キャリア指導案（１） コミュニケーション能力（１－２：合唱コンクール・２年）

「コミュニケーション能力」のとらえ方

- ①他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築くこととする。
- ②人間関係の大切さを理解し、コミュニケーションスキルの基礎を習得する。
- ③リーダーとフォロワーの立場を理解し、チームを組んで互いに支え合いながら仕事をする。

	事前の指導		行事指導	事後の指導	
期	道徳（１）	学活（１）	学校行事（６）	学活（１）	道徳（１）
対・ 話・ 力	○集団生活の向上 4－（１） 「私の存在」 道しるべ２（正進社）	○合唱コンクールを成功 させよう 活動内容（１）	○合唱コンクール	○異性への理解 活動内容（２）	○人間愛、思いやり 2－（２） 「愛話器の向こうは」 中学生の新しい道２（魁）
ね ら い	合唱コンクールに向け、グループやクラスで気持ちよい人間関係を築こうとする意欲をもつ。	合唱コンクール成功のためにはクラスの協力が必須であることに気づく。	練習の成果を披露し、支え合い（団結力）を体験する。	コンクールの成果を生かし、今後の生活に豊かな人間関係を活用する。	人間関係作りの発展として、自己の生き方を見つめることができる。
効	①	②③	③	①②	①②③
プ ラ ク ティ シ ス	○合唱練習の計画を進んで立てたり、練習したりする活動を通して、互いに支え合いながら活動していることに気づかせ、相手の気持ちを考えることができるとともに、誰とでも進んで話し合いができる生徒を育てる。				

コミュニケーション能力の育成

4 キャリア指導案（２）は、
指導略案です。



能力を育成するための授業や行事の展開の略案がのっています。行事の事前や事後のねらいや関わり、キャリア諸能力を育成するための各授業での視点の流れが分かるようになっています。

キャリア指導案（2）

（例）コミュニケーション能力

1 題材名 合唱コンクール： 2年（キャリア教育の視点 - 2）

2 ねらい

2年生のこの時期は、みんなで遊んだり、地域の行事に参加したりする経験が日常生活の中で非常に少ない。そのため「人と上手く話せない」「友だちができない」「友だちの中に溶け込んでいくことができない」など自己表現が苦手だったり、相手のことが理解できず、他者に配慮できなかったりといった生徒が多く、積極的によりよい人間関係を築いていこうとしている生徒が少ない。

そこで、合唱コンクールに向けたクラスの取組を人間関係づくりに応用し、いろいろな人がいろいろな立場で互いに支え合いながら頑張っていることを生徒に気づかせたい。その活動を通してコミュニケーションスキルを習得させ、コミュニケーション能力の育成を図る。

3 指導計画

全10時間計画予定

段 階	配当時間	配 当 授 業（時間）
行事のはじめ	2	学活（1）道徳（1）
本行事	6	合唱コンクール（6）
行事のまとめ	2	学活（1）道徳（1）

4 行事の展開

（1）行事のはじめ

ねらい 人間関係の大切さを理解し、積極的に人間関係を築こうとする意識を高める。

段 階	時 間	主 題	生徒の活動	ねらい	カリリ課程・留意点
活動の開始	30分	道徳	1 合唱コンクールに向け、グループやクラスで気持ちよい人間関係を築こうとする意欲をもつ。 （1）みんなが喜びを受けた経験を発表し合う。 （2）集団生活を向上させることの大切さを資料を読み、考える。 （3）今までの自分を振り返り、よりよい集団について考える。 （4）教師の講話	・集団の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい集団にしていこうとする意欲を育てる。 ・読み物資料「私の存在」4-(1) 道しるべ（玉造社2）	・導入で1年生の時の合唱コンクールを話題にし、何を羊んだか、思い出させる。 ・話し合いを通して、一人一人の存在が大切になることの大切さに気づかせる。 ・自己を振り返り、過去の自分と、これからの合唱コンクールに向けて意欲を高める。
活動の展開	50分	学級活動	2 合唱コンクール成功のためにはクラスの協力が重要であることに気づく。 （1）文化祭（学祭）のステージやコーン作成に向け自分は何ができるか、考え発表する。 （2）本時のめあてを知る。 ①活動1 目標達成に向けた計画や方法を考える活動 ②活動2 考えたことを確認する活動 （3）全員で合唱する。	・集団の一員としての役割を考えた活動から、合唱コンクールに向けた協力的で具体的な取組方法を考えさせる。 ・読み物資料「仲間が成功した理由」活動大容（1）	・昨年度の会賞を取ったクラスや生徒に、何が大切だったかを質問しておく。 ・道徳の授業を想起させ、コンクールに向けた意欲化を図り、自分の役割や行動を考えさせる。 ・学級や個人での立場を考えさせ、目標達成のためには、協力、人間関係を築くことが大切であることを気づかせる。 ・取組方法への意気込みや雰囲気を作る。
活動のまとめ	10分	知学活	3 練習の成果から、人間関係の大切さを理解する。 ・合唱コンクールへの意気込みを聞き意欲を高め、みんなが歌を歌う。	・みんなと一緒に気持ちよさを伝えて歌おうという意欲を高める。	・友だちを信頼することが成功の秘訣だと気づかせる。 ・合唱コンクールのステージやクラスの目標を再確認させ、意欲付けを図らせる。

（2）本行事

ねらい 相手の立場を理解し、互いに支え合うことを体験する。

段 階	時 間	主 題	生徒の活動	ねらい	カリリ課程・留意点
活動の開始	6時間	閉会式	1 練習の成果を発表し、支え合いを体験する。 （1）朝の会をする。 スローガン達成に向け、お互いが精一杯の力を発揮し、意欲を高める。	・意欲が実践に結びつくよう、各担当に役割を果たさせる。	・クラス、学年、自分のために合唱し充実感を味わう。 ・朝、係や各自の役割をしっかり果たし、目標を達成させようと誓っておく。
活動の展開			（2）活動1（合唱） 目標達成に向けて、クラスのみんなが心を一つにして歌おうという気持ちで取り組む。	・自分、パート、全体のことを考え、互いに支え合いながら合唱させる。	・ステージに上がる前などに、担任がクラスの生徒と心をつなぐために、お互いが支え合っていることに気づかせる。
活動のまとめ			（3）朝の会をする。 今までのことを思い出し、今後の生活に生かすよう振り返る。	・合唱コンクールを通して、充実感を体験させる。	・よりよい歌声を創り上げるには、支え合いが大切であったことにもめる。

（3）行事のまとめ

ねらい 豊かな人間関係を築いていこうとする意識を定着させる。

段 階	時 間	主 題	生徒の活動	ねらい	カリリ課程・留意点
活動の開始	50分	学級活動	1 コンクールの成果を生かして、今後の生活に豊かな人間関係を活用する。 （1）合唱コンクールの反省・評価をし、今後の生活について考える。 （2）本時のめあてを知る。 ①活動1 男女のよさを合唱練習やアンケート結果を参考にし、話し合う。 ②活動2 男女のよさを社会で生かす方法を合唱のことから思い出し、話し合う。 （3）今日の学習を振り返る。	・男女の望ましい人間関係の在り方を理解させ、望ましい学級集団を作り上げようとする。 ・ 課題意識 活動大容（2）	・アンケートの結果やコンクールの生活の感想を紹介する。 ・コンクール前後で、相手のことを考えることができるようになったことを生徒作文などを要請し、指導する。 ・コンクールで体験したことをもとに話し合わせる。 ・クラスの雰囲気を生かし、成果の継承化・定着を図るようさせる。
活動の展開	50分	道徳	2 人間関係作りの発展として考え、自己の生き方を見つめる時間とする。 （1）よりよい人間関係とは、どんな関係か考える。 （2）資料を読み、主人公の気持ちを考える。 （3）今までの振り返り、他人の思いやり、清らかな言動に感じた経験と気持ちを発表する。 （4）教師の講話を聞く。	・他人の心を自分の心として感じ取り、温かな心をもって生きようとする心構えを育てる。 ・ 読み物資料 「絆」（2） 絆の絆（道） （文藝社）	・合唱コンクールの行事の最後として心構えを育て、意欲の定着を図る。 ・相手の温かな心を感じることで、自分や他人の心の豊かさに気づかせる。 ・合唱という体験活動を基に、考えさせる。 ・本行事のまとめとして、自分の生活の在り方について考えさせ、今後準備できるような意欲を高めさせたい。
活動のまとめ	10分	知学活	3 行事全体（合唱）を通してコミュニケーション能力の必要性に気づく。 ・達成状況を会話や作文等を通して、評価する。	・この体験をこれからの生活に生かすように意識を高めさせる。	・行事で培われた成果を認め、学校生活に生かせるようにさせる。 ・観察やワークシート等を通して達成状況を確認する。

5 評価

○自分や周りの人の立場を考えながら、互いに支え合ったり、協力しあったりできたか。観察シート参照

5 キャリア指導案（3）は、
指導細案です。



1時間毎の授業の展開例が載っています。また、授業がすぐに行えるように資料も準備してあります。

キャリア指導案(3)

コミュニケーション能力(1-2)

＜事前指導：その2の1＞

○道徳展開例

- 1 主題名 集団生活での協力 4-(1) 集団生活の向上
- 2 資料 「私の存在」 道しるべ 2 (正進社)
- 3 ねらい

○集団の一員としての自覚をもた、協力し合ってよりよい集団にしていこうとする意識を育てる。

進路の視点

- 1 合唱コンクールに向け、気持ちのよい人間関係を築こうとする意識を育てる。

4 展開

*太字はキャリア教育の視点

時	生徒の活動や主な疑問	予想する生徒の反応	支援・留意点
導入5分	1 みんなで喜び合えた経験を発表し合う。 ①今まで、みんなで喜び合えた行事に、どんなものがありましたか。	・中体連新入戦 ・合唱コンクール ・姉高自然観察の行事 ・球技大会 ・マラソン大会 等	・導入なので、話題に触れる程度にする。 ・新入戦や1年生の時の合唱コンクール等を話題にする
展開40分	2 資料を読み、考える。 ②夏休みの、練習態度はどうだったか。 ③けがをしたとき、どんな気持ちだったか。	・いやいややっていた。 ・人数がそろわないのでいやになっていた。 ・やすめるのでうれしかった。	・①②は補助的な発問とし、③④を中心に考えさせる。 ・誰でもよくあることなので共感的に考えさせたい。 ・うれしかった気持ちと、苦しくなった気持ちの両方を考えさせたい。
	④演奏会が終わっても、なぜみんなのように喜べなかったのか。 ⑤あの言葉の本当の意味がわかったとあるがどのようなことか。	・真剣に練習に出ていなかったから ・演奏会を成功させようという意識が低かった ・誰か一人でも欠けてしまっただけで成功しない。 ・何事にも 生懸命に取り組むことの大切さ。	・演奏会成功に向けて精一杯取り組めていなかった自分に気づいたことを理解させたい。 ・話し合いを通して、一人一人の存在や協力し合うことの大切さに気づかせたい。
	3 自分を振り返る。 よりよいクラスを作るために、どうしたらいいか考えましょう。	・みんなのよいところを認め合う。 ・チームワークを大切に ・協力し合う。	・自己を振り返らせながら、これからの合唱コンクールに向けての意欲化を図る。 ・行事を通して、クラス作りをしていくことへ促される。
練習5分	4 教師の話を聞く。		・教師の体験談を話し、余韻を残し終わる。

5 評価 ○合唱コンクールに向け、気持ちのよい人間関係を築こうとする意識が育ったか。 (観察、11-12分)

6 事後指導 ○自分自身だけでなく、全体を考え、合唱コンクールの練習ができるようになったか、担任も練習に参加し、励ましの言葉かけをする。

道徳ワークシート(私の存在)

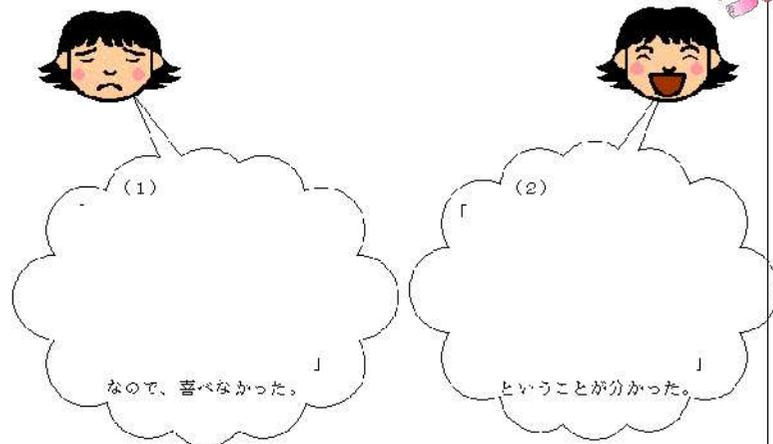
2年 組 番 名前 ()

1 資料を読んで、次のことについて考えてみましょう。

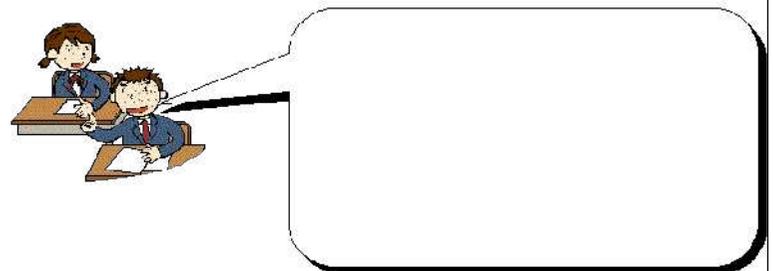
(1) 夏休みの練習態度はどうでしたか。

(2) けがをしたとき、どんな気持ちだったでしょうか。

2 次のことについて、自分考えを書いてみましょう。



3 今までの自分を振り返り、よりよいクラスを作るために、どうしたらいいでしょうか。



私の存在

月田 行俊

私は吹奏楽部でホルンを担当している。入部したその日からさっそく練習に入った。初心者には教わることをすべてが新しいことばかりだった。実際にホルンを手にしたときスツシリとした重さと、金属の冷たさが伝わってきた。

(こんな金属のかたまりからあんなきれいな音が出るのか)

と思った。最初に吹いても息を吹き込む音しか出なかったが、毎日練習を重ねていくにつれてだんだん音が出るようになってきた。私はそれがうれしくてたまらなかった。私にも楽譜が配られた。

(先輩といっしょに合奏ができる。みんなといっしょに吹ける。)

ガンバルぞ、というフアイトがわき出てきた。しかし、そう簡単ではない。しっかりと音になるまでに二か月かかったのだから……。それでも、楽譜の上に書かれている音符が、私の吹くホルンの音色になって、実際の音としてよみがえっていくことが、不思議でもありうれしくもあった。

夏休みに入り、九月の演奏会に向けての練習が始まった。OBの先輩も応援にきた。暑いさなかでの練習ということやそれぞれの用事を優先する人が多く、メンバー全員が集まることは少なかった。私も、休み中の予定が部活動とたぶってしまい、何度が休んでしまった。その時の後ろめたさで、そのあとスズルと休みがちになっていた。

久々に出席したある日の練習中、人が少なく個人練習にも飽きてしまっていたとき、先輩が、

「音をみんなで作り上げていく作業は、全員がそろっていないと意味がないんだ。一人だっただけで済ましたら、練習であるにせよその曲は未完成になってしまう。全員で取り組んでこそ、価値のある、意味のある演奏になるんだ。そのくらい一人一人が大切で、なくてはならない人材なんだ。」

ホルンは四人中二人欠席していた。今日の練習は、四人合同で練習するはずだった。(今日はちゃんと練習に来たのに、先輩には怒られるし、人数はそろわないし、嫌になっちゃう。もう、帰ろうかな)

私は、わざわざ練習するために登校してきたことが急にほかほかしく思えてきた。

「すみません、体調が悪いので帰らせてください。」

そうウソをついた。

夕方になって電話があった。明日、練習前にミーティングをすることになった。

(どうせ、ミーティングなんかやっちゃって変わらないうつがないのに)

翌日緊急ミーティングが開かれた。議長は部長がした。

「九月の演奏会に向けてこれからどうすべきか、全員で考えていきたいと思います。」

「この間先輩が言ったように、練習に全員が参加しなくては意味がないと思います。」

「用事の場合はどうなのよ。さぼっているわけではないのだから。」

「みんながそんなことを言っていたら、いつになっても全員そろわないんじゃない。」

「じゃあ、どうすればいいんだよ。用事だって大切なんだよ。」

いろいろな人が意見を言っている。私はそれをうわの空で聞いていた。早くミーティング

が終わらないかなとも考えていた。だから、積極的に話に加わることもなく、また、加わる気にもならなかった。しばらくそんな議論が続いた。そしていつまにか演奏会に向けての部としての方向が決まったようだった。

練習が再開された。みんな必死で練習している。私も先輩たちの手前練習には参加した。誰も欠けていない練習、みんなの気持ちは一つのことを目指している。しかし、そんな中で私は意欲を失っていた。

二期になった。いよいよ演奏会に向けての総仕上げの段階に入ってきた。私はまだ完全に吹けていないところが何箇所もあり、練習中に何度も注意されていた。だから練習がよけいめんどろになってきていた。

そんなとき、思わぬ事故が起きた。自分自身の不注意で階段から落ち、唇を切ってしまったのだ。唇を五針縫った。そればかりか、はれあがってしまい、楽器が吹けなくなってしまう。医者からは当分楽器を吹かないようにと言われた。私はそのとき内心よかったと思った。これで練習を欠席する口実ができたからだ。しかし何人もの仲間や先輩が、そんな私を励ましてくれた。

「だいじょうぶ、きつと演奏会にはまにあうよ。」

「洋二はいなくちゃならない人なんだから、早く治してね。」

「まだ時間はあるから、とにかく今は治すことだけを考えておけば。……」

(えっ、なんで？こんな私でも必要としてくれてるんだ。みんな、唇が治るのを待っていてくれるんだ)

そのとき初めて自分の存在がどれだけ大切なのかを知った気がした。そしてとてもうれしかった。おれからは、吹けなくても練習に参加することにした。でも、練習中のみんなの真剣な顔、気合いの入った返事、先生の熱のこもった指導の中にと、一人だけ取り残されたような気持ちになってしまった。今では早く治って練習したいというあせりが、日々心の中を支配して苦しかった。

週間前になって、やっと唇は完治した。今までの遅れを取り戻すかのように毎日必死で練習した。しかし、最初の何日かは、唇の感覚が戻らず、なかなか以前のようには吹けなかった。こんなんでだいじょうぶだろうかという重いが心の中からわいてきて、それを打ち消すことがどうしてもできないまま演奏会の日を迎えた。

私の心臓は、張り裂けそうなほどドキドキしている。緊張の連続だった。

(もし間違えたらどうしよう)

そんなことも頭のすみには浮かんできた。演奏会は大拍手の中で終了した。大成功だった。みんな成功を喜び合っている。感激している。あの顔もこの顔も……。みんな満足そうだった。今まで頑張ってきたことが成果となって表れたからだ。

私はほっとしていた。でも、みんなのように喜ばなかった。(なぜだろう。失敗はほとんどなかったのに)なんだかまた一人取り残されたような気持ちがあった。先輩の言ったあの言葉が、突然洋子の頭の中に浮かんできた。私は、あの言葉の本当の意味がやっとわかったような気がした。

(月田行俊／絵 田中未樹)

＜事前指導：その2の2＞

○特別活動展開例

- 1 題材名 感動する合唱コンクールにしよう（合唱コンクールへの参加意欲）
- 2 ねらい
 - 集団の一員としての役割を考えた活動から、合唱コンクールに向けた協力的で具体的な取組方法を考えさせる。

進路の視点

2 合唱コンクールの成功のためには、クラス全員の協力が重要なことに気づく。

3 準備

教師：司会進行の準備、中体連優勝や合唱が金賞だった生徒に苦勞話を聞いておく。
生徒：学年委員（司会進行）

4 事前指導

○学年委員と打ち合わせをして、企画・運営をしていく。学級スローガンを決定しておく。

5 展開

***本字はキャリア教育の視点**

階	生徒の活動（○）	教師の支援（・）と評価の観点（◎）
活動の開始	1 合唱コンクールの学級スローガンに込められた願いを確認する。 ○学級スローガンが決まるまでの、活動経過を確認する。 ○学級スローガンに込められた願いを活動委員が説明し、確認する。	・昨年、金賞をとった生徒にどんな苦勞や秘訣があったか聞いておき、種々の活動になるようにする。 ・本時までには、教師と実行委員で学級スローガンを決定しておき、クラスの思いをまとめておく。
活動の展開	2 本時のめあてを知る。 ○学級活動委員の説明を聞き、議題を知る。 —— 本時の議題 —— 感動する合唱コンクールにするための計画を立てよう。 —— 活動の手順 —— 活動1 作戦会議を開こう。 活動2 作戦をみんなで練り上げよう。	・学級活動委員を中心に活動させ、必要などきには、補足説明する。 ・本時の活動内容、手順については、あらかじめ計画を立て、打ち合わせをしていく。 ・コンクールに向けた意識化を図るために、自分たちの役割や行動を考えさせる。
40分	3 活動1をする。 ○班ごとに作戦会議を行い、考えをまとめる。 ・どんな合唱コンクールにしたいか話し合う。 ・これから必要な役割や分担は何か話し合う。	・役割分担（司会、発表者等）を決めて、話し合いをさせる。 ・スローガン達成に向けた話し合いの視点を考えさせ、協力して話し合いをする大切さに気づかせる。
5分	4 活動2をする。 ○各班での作戦を発表し合い、まとめる。 ・具体的な作戦に近づけるように話し合う。 ・他の班の話を聞き、作戦の練り直しをする。	・効果の大きいものを考えさせる。 ・作戦は後日活動委員に計画させる。 ◎作戦を考え進んで話し合っている
継続的	5 今日の活動を振り返る。 ○学級活動委員が話し合いの結果をまとめる。 ○ワークシートを仕上げ、自己評価をする。 ○先生の話を聞く。	・本時の感想をしっかりと書かせ、コンクールを成功させる秘訣に向け頑張ることができるようになる。 ◎今後の計画に意欲的になっている
6 評価	○協力的で具体的な取組方法を考えることができたか。（観察、ワークシート）	
7 事後指導	○練習計画にそってクラスとして作戦を実施できるよう、言葉かけを行い、意欲化を図る。	

学級ワークシート（感動する合唱コンクールにしよう）

2年組 番 名前（ ）

＜スローガン＞

*合唱コンクール	
*学級	



今日の活動のテーマは、

私たちの班の作戦は、

1.

2.

です。

＜活動1＞

＜活動2：具体的な作戦を書こう！＞

○

＜自分の意気込みを書こう＞

.....

.....

.....

* 合唱コンクールに向け、作戦を進んで考えたり、協力して話し合ったりすることができましたか、あてはまるところに、○を付けてください。

A：できた、 B：だいたいできた、 C：あまりできなかった、 D：できなかった

<行事指導：合唱コンクール>

行事展開例

1 行事名 合唱コンクール

2 ねらい 合唱の発表を通して相手の立場を理解し、互いに支え合うことの大切さを体験する。

進路の視点

- 1 練習の成果を発表し、支え合うことの大切さを体験する。

3 事前指導

コンクール当日のことを考え、前日のリハーサルで最終チェックをしておくように指導しておく。

4 展 開

*太字はキャリア教育の視点

段階	生徒の活動	支援・留意点
活動の開始朝の会	1 開会式 ・スローガン達成に向け、お互いが 今までの成果を出して精一杯歌おうと意欲を高める。	・当日の朝学級で集まり、自分の役割をしっかりと果たし、目標を達成させようとスクラムを組んで心を1つにする。 ・意欲が実践に結びつくよう、各担当に役割を果たさせる。
活動の展開発表	2 合唱発表 ・目標達成に向けて、クラスみんなが心を1つにして歌う。 ・共に感動する合唱をする。	・発表前に楽屋で、クラスの生徒や担任が心と心のふれあいを通してお互いの立場を理解させる。 ・今までのことを思い出しながら、自分やパート、学級のことを考え、互いに支え合いながら感動する合唱にさせるために、一人ひとりに声かけをする。
活動のまとめ帰りの会	3 閉会式 ・今日までのことを思い出し、合唱に向けての取組を、今後の生活に生かそうと振り返る。	・よりよい歌声を創り上げるには、支え合いが大切であったことを体験したことを基に気づかせたい。 ・合唱コンクールに向けた取り組みや今日の発表を通して、学級全員でやり遂げたことを認め、ほめ、充実した気持ちを振り返らせたい。

5 評価

合唱の発表を通して相手の立場を理解し、互いに支え合うことの大切さを体験することができたか。

(観察、感想文)

6 事後指導

相手の立場を理解し、互いに支え合うことの大切さを体験したことを通して、今後の行事や学級生活に生かす。

＜事後指導：その2の1＞

○学級活動展開例

- 題材名 彼を知ろう、彼女を知ろう : 異性への理解・活動内容(2)
- ねらい

○学級の中での男女の協力の実態を自覚し、把握させ、男女の望ましい人間関係の在り方を理解させ、望ましい学級集団をつくりあげようとする。

進路の視点

1 コンクールの成果を生かし、今後の学級生活に豊かな人間関係を構築する。

3 事前の活動

○アンケートの実施・集計、学級活動委員会による企画・運営

4 準備

教師：アンケート作成、学級活動委員会の指導

5 展開

※太字はキャリア教育の視点

階級	生徒の活動(○)	教師の支援()と評価の観点(◎)
活動の開始	1 本時の活動のめあてを知る。 ○学級活動委員の説明を聞き、めあてや活動の手順を知る。 本時のめあて 合唱コンクールの活動を補って、男女の望ましい人間関係の在り方を考えよう。 活動の手順 活動1 アンケート結果から考える。(感想や課題などを発表) 活動2 課題解決のために話し合う。	・学級活動委員を中心に活動させ、必要ときには、補足説明する。 ・本時の活動内容、手順については、あらかじめ計画を立て、実行委員と打ち合わせしておく。 ・活動単位については生活班とする。 ・アンケート結果は、事前に横断紙やプリントにまとめておく。 ・関係する行事の様子について、担任からの話で触れておく。
活動の展開	2 活動1をする。 ○アンケート結果を参考に男女がそれぞれの立場でよい点や課題を話し合う。 ＜よい点＞ ＜課題＞ ・以前より話すようになった。 ・係や当番など、協力しあっている。 ・自分たちが頑張っている。	・よりよいクラスを目指してのことであることを確認しておき、気象に感想等を発表させる。 ・合唱練習では、男女が敬遠し合ったり、仲たがひしたりして相手のことを考えることができなかった経験等も話題にする。 ・合唱コンクールで体験したことをもとに話し合わせる。
35分	3 活動2をする。 ○グループで課題の解決策を話し合う。 ・班で話し合う。 ・班の代表者が発表する。 ・評議員が黒板を参考にまとめる。	・男女がお互いを尊重しながら、よりよい学級を作ろうという意欲を生徒の興奮を通して気づかせる。 ◎課題を進んで考え話し合っている
活動のまとめ	4 今日の活動を振り返る。 ○ワークシートを仕上げ、自己評価をする。 ○担任の話聞く、	・本時の評価をしっかりとらせ、相手のことを考え、一生懸命に取り組むことの大切さに気づかせたい。 ◎今後の活動に意欲的になっている

6 評価 ○男女の望ましい人間関係の在り方が理解でき、望ましい学級集団を作ろうと意識できたか。(観察、ワークシート)

7 事後指導 ○仕事や行事を通して、望ましい学級集団を作ろうとする実践化を図る。

○学活ワークシート(彼を知ろう、彼女を知ろう)

2年 組 番 名前()

本時のめあて
合唱コンクールの活動を補って、男女の望ましい人間関係の在り方を考えよう。

活動の手順

活動1 : アンケート結果から考える。(感想や課題などを発表)

活動2 : 課題解決のために話し合う。

1 活動1



○よい点は、
●課題は、

2 活動2

＜解決策を考えよう！＞
○
○
○

＜さらに素晴らしい学級集団にするために、自分の意見込みを書こう！＞
.....
.....

3 望ましい学級集団を作ろうと進んで考えることができましたが、

A : できた。 B : たいしてできた。 C : あまりできなかった。 D : できなかった

学活事前アンケート(彼を知ろう、彼女を知ろう)

男女が協力してよりよいクラスを作るために

H16, 10, 14

合唱コンクール学年大会、結果はどうでしたか。金賞から銅賞と、喜びや悔しさはそれぞれ違うと思いますが、藤樹祭が本番です。悔しかったクラスは、これからが勝負です。クラスが一致団結して金賞目指して頑張ってください。金賞だったクラスは、さらにみがきをかけ、ここで引き離せるように頑張ってください。

ところで、今までの学校生活を振り返って、今のクラスは「いいクラスだ」「誰にでも自慢のできる最高のクラスだ」といえるクラスに近づいていますか。4月に決めたクラス目標や個人目標は達成しつつありますか。そのためには、一人ひとりの頑張りはもちろんのこと、クラス全員の力が必要ですね。そこで、自分たちのクラスについて、少し振り返ってみたいと思います。次のアンケートに回答してください。お願いします。

2年 組 番 名前 ()

A：よくあてはまる、B：だいたいあてはまる、C：あまりあてはまらない、D：あてはまらない

(1) この学級の男子と女子は仲良しですか。 A B C D
|-----|

(2) この学級には、気軽に話せる男子(女子)がいますか。 A B C D
|-----|

(3) この学級では、男子と女子と一緒に遊ぶことができますか。 A B C D
|-----|

(4) この学級では、男子と女子が公平に接することができますか。 A B C D
|-----|

(5) あなたは、係活動や当番活動を男子(女子)と協力して行っていますか。 A B C D
|-----|

(6) 男子(女子)が「すばらしい」と思えるのはどんなときですか。

(7) 男子(女子)が「頼りになるな」と思うのは、どんなときですか。

(8) 男子(女子)から女子(男子)へ、どうしたらお互いにうまく行くとお思いますか。

ご協力ありがとうございました。

＜事後指導：その2の2＞

○道徳展開例

- 1 主題名 人間愛・思いやり 2-(2)
 2 資料 「受話器の向こうは」 中学生の新しい道 2 (文教社)
 5 ねらい

○他の人の心を自分の心として感じ取り、温かな心をもって生きようとする心情を育てる。
 進路の視点

2 人間関係作りの発展として考え、自己の生き方を見つめる時間とする。

4 展開

★太字はキャリア教育の視点

経過	生徒の活動や主な発言	予想する生徒の反応	支援・留意点
導入5分	1 自分の勤怠や早とちりで、友だちと気まずい思いをした経験を発表する 自分の勤怠で、友だちと気まずい思いをしたことがありますか。	・そそっかしいから、よくあるな。 ・みんなもそうなんだ。 ・自分もされたり、したりすることがあった。	・導入なので、あまり時間をかけないようにする。 ・誰でも経験していることであり、拳手する程度にとどめるが、発表できる生徒がいれば発言させる。
展開40分	2 資料を読んで、主人公の気持ちについて考え、発表し合う。 ①「もう残業は終わったのかしら。だったら電話してくれてもいいのに」と言ったときの私の気持ちを考えよう。 ②外出先でして夢中で飛び出して行ったときの私の気持ちを考えよう。 ③その場立ちつくしていたときの私の気持ちを考えよう。 ④自分が課長だったら、このときどうしますか。 ⑤⑥は、補助的な発問とし、⑦を口々に考えさせる。 ※ 合唱コンクールに向けた取り組みや行事等を振り返ることにより、他の人の思いやりに満ちた言動を思い出させ、これからの自分の生き方を見つめさせる。 ※ 演劇の題材(相談員)と、これからの就活の関わりを教めよう。	・私なんか涙となくちゃいいのかしら。 ・わざと電話に出ないで、怒っているのだろうか。 ・もしかしら、残業をしているのかな。 ・心配だ、見てこよう。 ・私が会社の人たちを誤解していたのかな。 ・やっぱり、自分が誤解していたんだ。 ・なんて、温かな人だなあなげろう。 ・電話に出て安心させ求なくていいという。 ・仕事の進み具合をいい、言葉で伝える。 ・ガラスがまだまぶしくて悩んでいたとき、励ましてくれて、うれしかった。 ・合唱を通して引っ込み思案にならないことが大切と気づいた。 ・これから、進んで友だちと関わっていいことと思った。	・本行きのまどめとし、資料から早く離れ、今までの振り返りに一分時間をかける。 ・自分のことばかりを考えている主人公に気づかせ、自分たちも相手のことを察することができず、不平・不満ばかり言っていたことなど、共感的に理解させる。 ・娘の悩みが誤解だと分かり、電話に中ないのは何か原因があるのではないかと考えられるようになった、私の心の裏面に気づかせたい。 ・主人公の心の裏容の原因ををしっかり考えさせ、人は優しい心で支えられていることにもふれる。 ・言葉を紹介しない思いやりや言葉を紹介して安心させる思いやりがあることに気づかせたい。 ・リંગシロで話自身が書きを書くことにより、自分自身を振り返らせる。 ・机間指導をしながら、これから豊かな人間関係を築いていきたい、と書いた生徒の考えを意図的に発表させたい。 ・クラスの様子から、関係のある話を用意しておく。 ・教師の年談話を話し、余韻を残し終わる。
	7 評価	○他の人の心を自分の心として感じ取り、温かな心をもって生きようとする心情が育ったか。	

- 8 事後指導 ○さまざまな活動を通して、他の人の立場や誰に対しても思いやりの気持ちをもち、助け合うことを理解させ、よりよい人間関係を築かせる機会をもつ。

道徳ワークシート（受話器の向こうは）

2年 組 番 名前()

1 資料を読んで、次のことについて考えてみましょう。
 (1)「もう残業は終わったのかしら。だったら電話してくれてもいいのに」と言ったときの私の気持ちを考えましょう。

(2) 外出先でして、夢中で飛び出して行ったときの私の気持ちを考えましょう。

2 次のことについて、自分の考えを書いてみましょう。

立ちつくしていたとき、私は、

自分が課長だったら、

3 合唱の取組を通して、今までの自分を振り返り、友だちとの関わり方を考えましょう。

